

78	建設局 都市整備局	三環状道路の整備促進（東京外かく環状道路）	
事業概要	東京外かく環状道路（外環）は、都心から約15kmの圏域を環状に連絡する延長約85kmの道路で、東京の最大の弱点である交通渋滞を解消し、CO <sub>2</sub> 排出量の削減効果も大きい重要な幹線道路である。このうち、三郷南インターチェンジから関越道（練馬区）までの約34kmが開通しており、葛飾区内の区間約0.9kmを含む三郷南インターチェンジから東関東自動車道までの約16kmが事業中で、関越道（練馬区）から東名高速間（世田谷区）までの約16kmは平成21年5月に事業化された。なお、東名高速から湾岸道路までの約20kmが調査中である。		
これまでの経過	<p>1966(昭和41)年7月 都市計画決定（都県境～東名高速間 約18km）</p> <p>1970(昭和45)年10月 建設大臣が「地元と話得る条件の整うまで強行すべきでない」旨発言</p> <p>1994(平成6)年3月 和光IC～関越道間供用（練馬区内約1.9km含む）</p> <p>1999(平成11)年12月 石原知事が第4回定例都議会で外環の自動車専用部の地下化を基本に計画の具体化を図ることを表明</p> <p>2007(平成19)年4月 都市計画変更決定の告示・縦覧及び環境影響評価書の公告・縦覧</p> <p>2009(平成21)年4月 「対応の方針」を公表</p> <p>2009(平成21)年5月 「整備計画」の決定、事業化</p> <p>2009(平成21)年6月 大泉JCT部の用地取得事務の一部を都が受託する協定を締結</p> <p>2009(平成21)年12月 「事業の概要及び測量等の実施に関する説明会」開催</p> <p>2010(平成22)年4月 都は、「東京都建設局外環大泉事務所」を開設</p> <p>2010(平成22)年5月 国と都の間で大泉JCT部における「用地事務委託契約」を締結</p> <p>2010(平成22)年7月 道路区域の一部決定に伴う説明会を国と協力して開催</p> <p>2010(平成22)年8月・11月 道路区域の一部決定、告示(大泉JCT部、中央JCT部の一部及び東名JCT部)</p> <p>2012(平成24)年4月 整備計画の変更・事業許可に伴い、事業者が決定（工事完成予定が平成32年度と明記）</p> <p>2012(平成24)年9月 東名JCT予定地において着工式を開催、トンネル立坑工事に着手</p> <p>2013(平成25)年6月 大泉JCTにおいて準備工事に着手</p> <p>2013(平成25)年9月 残る道路区域を全て決定</p> <p>2013(平成25)年10月 中央JCTにおいて準備工事に着手</p> <p>2014(平成26)年3月 大深度地下使用認可と都市計画事業承認・認可を取得</p> <p>2014(平成26)年3月 国は、平成26年直轄予算308.9億円を措置</p>		
現在の進行状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年9月に東名JCTでトンネル立坑工事に着手したのに続き、平成25年6月には大泉JCTで、10月には中央JCTで準備工事に着手し、全てのJCTで工事を開始した。</li> <li>都が用地取得事務の一部を受託している大泉JCT部においては、平成23年度から地域全域にわたる用地測量を行い、積極的に用地取得を進めている。</li> </ul>		
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>都は、国との用地取得事務に関する受委託契約に基づき、引き続き、大泉JCT部の用地取得を進める。</li> <li>関越道～東名高速間については、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のためにも2020年早期の開通に向け、さらなる事業の推進を国等事業主体に求めている。</li> </ul>		
問い合わせ先	建設局 三環状道路整備推進部 整備推進課 都市整備局 都市基盤部 街路計画課	電話	03-5320-5172 03-5388-3279